

静岡市立安倍口小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年5月20日(火)

静岡市立安倍口小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、土器の分類体験 火起こし体験を行いました。

土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

<児童の感想>

仕分けをする前は、簡単だと思っていたけど、そんなことなく、厚さが似ていたりして仕分けをするのが難しかったです。

楽しかった土器の仕分けでした。特徴を見ながら仕分けするのが楽しかったです。



火起こし体験

舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

火起こしは難しいと思いました。それは、全然できなかったからです。昔の人は、火が必要になったら、毎回火起こしをしていたので、大変だなと思いました。

班のみんなと交代しながらやりました。煙が出るまでが長く、だんだん疲れてきて大変でした。一回火がついたけど、消えてしまって難しかったです。今は、電気で火がついたり、マッチやライターがあるけれど、昔は自分たちで大変でも起こさなければいけないことを実感しました。



<先生方の感想>

実際に発掘された土器を分類することで、時代ごとの土器の特徴について子どもたちが理解しているように見えた。火起こし体験を一人ひとり行うことができたため、子どもたちが昔の人の火起こしへの大変さを感じており、良い体験活動になった。

